

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社サト一商会

上場取引所 東

コード番号 9996 URL <http://www.satoh-web.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝口 良靖

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡本 雄次郎

TEL 022-236-5600

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	34,531	0.5	724	△24.7	883	△24.5	541	△34.0
25年3月期第3四半期	34,346	8.5	961	24.0	1,170	27.0	820	60.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 564百万円 (△33.2%) 25年3月期第3四半期 844百万円 (67.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	60.59	—
25年3月期第3四半期	91.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	30,647	18,720	61.1	2,093.70
25年3月期	27,788	18,371	66.1	2,054.58

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 18,720百万円 25年3月期 18,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
26年3月期	—	12.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,020	1.1	986	△10.4	1,220	△11.4	736	△22.2	82.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	9,152,640 株	25年3月期	9,152,640 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	211,178 株	25年3月期	211,103 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	8,941,507 株	25年3月期3Q	8,941,543 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から12月31日)におけるわが国経済は、政府・日銀による金融緩和を始めとする経済政策の効果により、雇用情勢の改善や企業の設備投資に回復の動きが見られるなど、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方、円安によるエネルギーコストの増加や輸入原材料などの価格上昇が、一般消費者の消費支出に及ぼす影響は大きく、本格的な回復には相応の時間を要するものと考えております。

食品業界におきましては、景気回復による消費者マインドの改善が期待されますが、国内の市場規模に拡大が見られない中、低価格販売競争の継続や消費者の低価格・節約志向が依然として続いております。また、消費税増税による消費低迷の懸念が存在するなど、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境のもと当社グループは、「業種別の市場占有率を高める」を年度方針に掲げ、お客様の立場に立った仕入体制、付加価値の高い商品開発を進めると共に、高い専門性を有した人財の育成に取り組んでまいりました。また、より一層の経営の効率化を図り、積極的な営業活動を展開しておりますが、営業エリア拡大のため前年度下期に新設しました営業所、店舗、及び災害対策強化設備などの投資による諸経費が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高345億31百万円(前年同四半期比0.5%増)、営業利益7億24百万円(同24.7%減)、経常利益8億83百万円(同24.5%減)、四半期純利益は、5億41百万円(同34.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、東北各県及び栃木県エリアの新規得意先様の開拓、既存得意先様への更なる深耕を継続して行うと共に、業種別政策を強化するため専門性の高い展示会、ミニ提案会を実施してまいりました。また、得意先様のお役に立つため、消費者ニーズに対応した商品開発・メニュー開発、売場づくりのご提案、販売促進活動や調理技術の支援など、一緒になり集客アップにも取り組んでまいりました。商品開発におきましては「J F S A」ブランドを中心とするオリジナル商品、東北各地域の原材料を使用した地産地消商品の開発、原材料の価格高騰による商品の値上げに対応した提案商品の見直しなど、同業他社との差別化戦略に重点を置いた商品の提供に努めてまいりました。また、新設営業所を始め、業種別毎に新規得意先の開拓を積極的に行い売上が堅調に推移したことや、年末年始の休日期間が例年より長かったことで需要増加に繋がり、前年度の大口取引先とのアライアンス解消による影響を吸収いたしました。

この結果、売上高は301億98百万円(前年同四半期比0.5%増)、セグメント利益(営業利益)は8億73百万円(同16.1%減)となりました。

小売業部門におきましては、業務用食品専門店として一般スーパーとの差別化を明確にするために、専門商材の品揃えの充実と商品開発を図ると共に、主要顧客であります中小飲食店業者様へ、ダイレクトメールによる「C & Cメンバーズインフォメーション」を発行し、お役に立つ情報の提供を行いました。更に来店客数の増加に向けた取り組みを進めたことにより、業者会員様への売上は好調に推移いたしました。一方で一般のお客様には、魅力ある「J F S A」ブランド商品の販売促進を行うと共に、利便性のある品揃えを増やすなど、専門商材の訴求を積極的に行ってまいりました。

また、より一層の業務の効率化を図り、自動発注システムを全店舗にて導入開始いたしました。一方で、電気料金の上昇による光熱費等の増加により、経費が増加いたしました。

この結果、売上高は43億33百万円(前年同四半期比0.5%増)、セグメント利益(営業利益)は2億2百万円(同23.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ28億59百万円増加し、306億47百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が11億72百万円、商品が6億12百万円、投資有価証券が16億95百万円増加し、有価証券が5億85百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比べ25億10百万円増加し、119億26百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が22億66百万円増加し、賞与引当金が1億22百万円、未払法人税等が1億67百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ3億49百万円増加し、187億20百万円となりました。これは主に、四半期純利益5億41百万円及び剰余金の配当2億14百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.1%(前連結会計年度末66.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,774,770	1,913,335
受取手形及び売掛金	5,156,613	6,329,283
有価証券	7,500,000	6,914,108
商品	1,781,465	2,394,250
その他	557,968	374,305
貸倒引当金	△14,663	△12,867
流動資産合計	16,756,155	17,912,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,802,967	1,797,566
土地	3,994,426	3,994,426
その他(純額)	435,953	445,756
有形固定資産合計	6,233,347	6,237,749
無形固定資産		
	84,791	80,412
投資その他の資産		
投資有価証券	3,517,064	5,212,833
その他	1,214,992	1,233,858
貸倒引当金	△18,324	△29,575
投資その他の資産合計	4,713,732	6,417,117
固定資産合計	11,031,871	12,735,278
資産合計	27,788,026	30,647,694
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,508,081	9,775,078
短期借入金	580,000	585,000
未払法人税等	255,200	87,229
賞与引当金	251,797	129,187
その他	598,027	1,150,160
流動負債合計	9,193,106	11,726,655
固定負債		
退職給付引当金	15,730	19,463
役員退職慰労引当金	189,614	154,681
資産除去債務	5,785	5,863
その他	12,653	20,314
固定負債合計	223,783	200,322
負債合計	9,416,890	11,926,978

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,717	1,441,717
利益剰余金	15,696,707	16,023,914
自己株式	△187,630	△187,698
株主資本合計	18,356,593	18,683,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,542	36,983
その他の包括利益累計額合計	14,542	36,983
純資産合計	18,371,136	18,720,715
負債純資産合計	27,788,026	30,647,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	34,346,950	34,531,893
売上原価	28,562,993	28,830,546
売上総利益	5,783,956	5,701,347
販売費及び一般管理費	4,822,070	4,976,918
営業利益	961,885	724,428
営業外収益		
受取利息	50,942	71,401
受取配当金	5,558	5,623
持分法による投資利益	24,824	30,040
受取賃貸料	39,938	39,866
投資有価証券償還益	79,022	—
その他	19,987	23,955
営業外収益合計	220,274	170,887
営業外費用		
支払利息	2,262	2,178
賃貸収入原価	9,314	9,586
営業外費用合計	11,577	11,764
経常利益	1,170,582	883,551
特別利益		
固定資産売却益	24,135	—
投資有価証券売却益	2,395	3,792
補助金収入	134,660	—
その他	3,104	—
特別利益合計	164,294	3,792
特別損失		
固定資産除却損	413	2,313
固定資産売却損	3,088	—
その他	213	—
特別損失合計	3,715	2,313
税金等調整前四半期純利益	1,331,162	885,030
法人税、住民税及び事業税	328,376	269,715
法人税等調整額	182,359	73,511
法人税等合計	510,735	343,226
少数株主損益調整前四半期純利益	820,426	541,803
四半期純利益	820,426	541,803

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	820,426	541,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,139	22,440
その他の包括利益合計	24,139	22,440
四半期包括利益	844,566	564,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	844,566	564,244
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	30,036,316	4,310,634	34,346,950	—	34,346,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	30,036,316	4,310,634	34,346,950	—	34,346,950
セグメント利益	1,040,332	263,314	1,303,646	△341,761	961,885

(注) 1. セグメント利益の調整額△341,761千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	30,198,852	4,333,041	34,531,893	—	34,531,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	30,198,852	4,333,041	34,531,893	—	34,531,893
セグメント利益	873,279	202,627	1,075,907	△351,478	724,428

(注) 1. セグメント利益の調整額△351,478千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。